

# 市民の声

## 市政に思う

シリーズ3

「市民の声」は、シリーズ物として4町の各種団体  
にお願ひし、市政等に対しての思いを書いていただき  
ました。

ご協力ありがとうございました。

次回もご期待ください。

議会広報特別委員会

### 市民と行政との 信頼関係を

能美町地区会長等

連絡協議会

会長 片平 司



協働のまちづくりをとり行政は盛んに言っているが、やっていることは協働ではなく一方的な住民サービスのカットではないか。合併前に盛んに言われた、合併のメリットとして「財政力が高まる」「住民サービスを厚くする」「住民サービスを厚くする一方、負担は軽くする」「サービスは高いほうに、負担は低いほうに」は、合併後の3年間で見事に裏切られた。高まるはずの財政力は国の三位一体の構造改革により地方交付税は削減

をされ、少ない基金を取り崩しての綱渡りの予算編成となっている。財政力の低下に伴い、各種住民サービスは軒並みカットをされ住民には多大な痛みが押しつけられている。旧能美町は、75歳以上の高齢者に支給されていた市営船優待バスの廃止、広島市内の病院へ通院するための通院助成金の廃止に止まらず、中町発フエリー便の減便まで行われ住民から出てくる声は恨み言ばかりです。

協働のまちづくりと云うのであれば、住民にとって不利益になるサービスカットは住民が十分納得をするまで説明をする責任が行政にはある。江田島市においては高齢化と人口減は年々進行し、市の財政を重く圧迫すると予測される。協働のまちづくり推進の為に、行政と市民の信頼関係が必要不可欠である。住民は自ら判断をし、納得したことに理解を示すはずである。またそのことがまちづくりへの大

きな力となると確信をする。いずれにせよ、市民の最後のセーフティネットは地方自治体である事に変わりはない。



### 地域に根付いた 活動を

沖美町商工会

会長 大勢登 正



4町が合併して、我々商工会地域の中心市街地の衰退が深刻化しており、コミュニティの崩壊、社会・文化生活・環境面など様々な分野で構造的な停滞感、閉塞感をもたらし、地域全体が危機的状況にあります。また合併により、周辺地域に対する行政支援の希薄は、行政の「住民サービスの低下」や「自治意識の弱体化」に繋がる恐れがあります。我々商工会は、4月に

四町商工会が合併し、新たに江田島市商工会を立ち上げることとなっています。これにより、今まで以上に高度なニーズに対応し、機能をより強化し高度専門的な指導・支援を行うことが必要であり、知的蓄積のある大学等専門機関と連携を図りながら、取り組んでいきます。商工会は、地域の総合経済団体として、地域の産業振興やまちづくりの中心的役割を担ってきた

組織です。新生商工会誕生後は、今まで以上に、行政・他団体とも連携を取りながら、地域に根付いた活動を行っていきたいと考えています。



### 学校統合があつて

江田島小学校PTA

会長 山本 正彦



江田島市となつて3年がたちますが、私の住む江田島小学校も昨年・今年と二度に渡り計5つの学校が一つに統合されました。私達、保護者は、子どもたちが新たな学校環境になじめるだろうか。いじめは起きないだろうか。バス通学は・・・など心配がありました。4月、新学期が始まり少し経って学校へ行きますと、そこには屈託のない満面の笑顔で友達と休み時間を過ごす子供達の姿があり

ました。授業中も人数が増えたせいかととも活気がありました。この時は、子供達の持つ環境の変化に対する適応力、短時間で友達関係が築ける純粋な心、子供達の持っている大きな力を感じました。統合から8カ月がたち、子供達は変わらず活気ある学校生活を送っています。統合がスムーズに進んだ中で忘れてならないのが、やはり学校での保護者である先生方の力で、通常の学習指導の他に、

登下校時のバスの安全指導、統合時の子供達への心のケアなど、大変だったと思います。また、地域の皆さんにも登下校時の安全指導、地域での見守り、コミュニケーション活動でのお世話など、たくさんの方々のおかげです。さて、このように子供達には、私達大人のサポートが必要で、今の社会、子供達にはたいへん厳しい社会です。私達保護者・学校・地域が連携し子供達への「教育」を

「協育」として生き方を教え、同時に私達大人が作った今の社会を、次世代を担う子供達が夢と希望が持てる安全で明るい社会に変えるのが私達大人の責任だと思います。その為には、行政の人達を含めたたくさんの方々の力が必要です。よろしくお願ひいたします。

### 老人クラブの 組織の強化

大柿町老人クラブ連合会

会長 尾勢 強



日本最大のシニア団体である、全国老人クラブ連合会が、会員減に悩んでいる今日、我が町でも他人事ではない。人口の半数が60才以上の高齢化になりつつある現在、老人クラブの組織を少しでも強化し、地域の安定した団体として育成し、町内の各行事に参画し、他団体とも手を携え老人パワーを発揮し、住み良い郷土・楽しい故郷を築き、誰もが帰参したがる町になるよう努力したい。

60〜70才になつても私は若い、年寄りではないと言っている人達がいる。年をとるほど人懐かしくなるのが人生である。このような人は、後に友達も出来ず寂しい人生を送る事でしょう。いつでも参加できる老人クラブに入会し各行事に参加し多くの友人をつくる事をお薦めします。あらゆる行事に参加しお互いの思いを語り合える友をつくり充実した老後を過ごしたいものです。

皆さんの絶大な協力をお願いいたします。折角の良い機会なので市当局に一言もの申す。市のイノシシ対策は甘すぎ。今や民家の軒先まで出没している現状であり田畑を荒らされ、老人が仕事場を失い、健康調整が出来なくなり、やがて医療費が高んで来る。風が吹けば桶屋が儲かるの譬えがあるが、早急に最善のイノシシ対策を望む。

